

くらしに役立つ新聞
しんぶん「赤旗」
日刊—3497円
日曜版—823円

新 宮 田

日本共産党
上伊那地区委員会
電話 72-2465
宮田村委員会

宮田村人口、昨年（平成二六年）

出生八三人、死亡八三人、自然増ゼロ

自然増は南箕輪村五〇人のみ

残り七五市町村は、死亡が出生を上回る

県では、昨年一年間の人口異動調査結果を発表しました。

昨年一年間で、宮田村は、生まれた赤ちゃんの数と、死亡した方の数が同じでした。

長野県で出生の方が多かったのは南箕輪村だけでした。

一昨年（平成二五年）も死亡より出生が多かったのは、南箕輪村の六人と宮田村は出生八一人、死亡八〇人、差引自然増一人の二村のみで他の市町村は全部自然減でした。

人口増は、転入、転出の数が加算されますので、長野県では転入の多い軽井沢町七九人増、南箕輪村七七人増、原村一八人増、白馬村一七人増、御代田町一六人増の五町村のみ人口が増加しました。

宮田村は転出が多く前年比三九人減となりました。

県内の人口は年間二万二千人を上回る減少で、かろうじて二一〇万人台でした。

自然増減もマイナス八七二三人の減です。

所得の低い人ほど、結婚比率が低く、子どもの数も少ないなど、政治の責任が問われています。

地方創生などスローガンで騙されることなく、いつせい地方選挙でキツチリ投票しよう。

上伊那関係の人口変化（26年）

	自然増減、	人口増減
南箕輪村	50人	77人
宮田村	0人	△39人
中川村	△24人	△42人
飯島町	△73人	△54人
箕輪町	△84人	△30人
辰野町	△137人	△282人
駒ヶ根市	△150人	△106人
伊那市	△306人	△395人

プレミアム商品券

二六年度も実施へ補正予算

二〇%のプレミアム付きで三千セット

宮田村議会臨時会は一月二九日開かれ、平成二六年度一般会計補正予算でプレミアム商品券発行、肺がん検診委託料など歳入歳出にそれぞれ六七〇万六千円を追加し、総額三六億七八九二万円とする補正予算案を原案通り可決しました。

プレミアム商品券発行は、国の地域住民生活等緊急支援交付金を活用

二〇%のプレミアム付きで三千セット、総額三六〇〇万円の発行が計画されています。

これまでの商品券発行は、村と商工会で三百万円を負担し、プレミアム分一五%の商品を販売しましたが今回はプレミアム分六〇〇万円と発行事務委託費五〇万円が全て国庫負担です。発行日、詳細は未定

—地域住民生活等緊急支援交付金—

この事業で宮田村への国からの補助金は三六〇〇万円です。この内、商品券等の事業費が一五〇万円あります。議会の質疑で出された「弱者や福祉、子育て支援に対応を」について、村長はプレミアム商品券の残りの分（八五〇万円）の中で対応する考えを示し、まとも次第に臨時議会を開くとしています。

また、商品券以外の地方創生、地域活性化（二一〇〇万円）は次年度に繰越し計画策定してゆく考えを示しました。